

IT用語の日常への浸透と習得
PENETRATION OF IT TERMINOLOGY INTO DAILY LIFE
AND THEIR ACQUISITION

濱田美和・深澤のぞみ, 富山大学

HAMADA Miwa & FUKASAWA Nozomi, University of Toyama

概要 : IT 技術が広く普及したことにより, IT 用語は PC 操作以外の日常的な場面でも頻繁に使われるようになった。最近では, 日本語力を有する外国人 IT 技術者のニーズが世界的に高まっているだけでなく, 一般の日本語学習者にとっても, 日本語の IT 用語の習得が, 仕事や学習, また生活に不可欠なものとなってきている。そこで本発表では, 普段の生活で接することの多い新聞や雑誌などの様々なタイプの文から IT 用語を抽出して, IT 用語が日常生活へ深く浸透し, 一般語化してきている状況を明らかにする。さらに, それらの語の特徴を出現度数や語種に基づき分析し, 日本語学習の視点も加えて検討した上で, 一般の日本語教育の中で扱う必要があることを提案する。

キーワード : 日本語の IT 用語, 日常への浸透, 一般語化, 日本語教育

本研究の目的

近年, 日本語力を有する IT 技術者のニーズが世界的に高まってきている。そして, 大学で学ぶ留学生をはじめとして, 日本で生活する外国人にとっても, 仕事や学習上, また日常生活を送る上で, 日本語環境の IT 機器に接する機会は年々増加傾向にある。

非日本語母語者が日本語環境の IT 機器を使用する際に問題となるのが, 日本語の IT 用語である。母語や英語での操作に慣れている者にとっても, PC のメニュー等が日本語で表示されると, 思い通りに使いこなせなくなってしまう。深澤他(2003)では, 日本語学習者の IT 機器の使用を支援するために, 日本語環境の PC 画面に表示される用語を調査分析し, 用語集の開発を行った。しかしその後, IT 技術のさらなる普及とともに, IT 用語は PC 操作を行う以外の場面でも目にしたり耳にしたりする機会が増え, 日常生活へも深く浸透するようになった。このため, 用語集の開発だけでは不十分となり, 日常生活における重要語として, 一般の日本語教育の中で採り入れることが必要となってきている。

そこで, 本研究では, 日本語の IT 用語を, 日常接する様々なタイプの文から抽出することにより, 専門語としてだけでなく一般語化した IT 用語にどのような語があるか, そしてその浸透状況や語の特徴を明らかにする。さらに, これらの語を日本語学習の視点から分析した上で, IT の専門分野の基礎語彙として整理し, 一般の日本語教育の中で扱う必要があることを提案したい。

調査方法

IT に関連する用語及び使用文例を, 表 1 に挙げた文献から採集した。これに際し, 日常生活に浸透した IT 用語を観察するという観点から, IT を主なトピックとして扱う書籍等は対象から外し, できるだけ幅広いジャンルから集めるように心掛けた。また, IT の世界は変化の速度が非常に速いという特徴があることから, 2005 年以降に発行された出版物等を対象とすることにした。この結果, 延べ 6567 語 (異なり 841 語) を抽出した。

表1 用例採集リスト

新聞	朝日新聞 2007/2/10 朝刊, 北日本新聞 2006/11/27 朝刊, 向學新聞(月刊) 2007/1/1
雑誌	文芸春秋 2007年2月臨時増刊号, サライ 2006年12号, 日経ビジネス 2006年9月11日号, Newton 別冊「性を決めるXとY」, CanCam 2007年3月号, 留学交流 第18巻 第11号
小説	藤本ひとみ『隣の若草さん』, 中川淳一郎『人生ゲーム ある日ぼくの会社がなくなった』
一般教養 実用書 など	三浦展『下流社会 新たな階層集団の出現』, ゆうきとも『人はなぜ簡単に騙されるのか』, 香山リカ『14歳の心理学』, 竹内薫・茂木健一郎『脳のからくり』, 富家孝『患者さんにはちょっと言えない 医者の世界の「お約束」』
コミック	雁屋哲・花咲アキ『美味しんぼ』96・97, 北条司『エンジェル・ハート』15, 秋月りす『OL 進化論』25・26, 二ノ宮知子『のだめカンタービレ』16・17
広報 情報誌	広報とやま 2006年11月20日発行, 納税富山 平成18年11月20日発行, 花日和 2007年2-3月号, 富山情報 2007年2月14日号
広告	ダイワロイネットホテル富山トヤマ (ホテル), サークルシティ中央通り (マンション), アーバンシティ富山堀川町 (マンション), お届けガスト (弁当宅配), ヤングドライ (クリーニング), 音楽学校 MI ジャパン金沢校 (学校), 日本旅行チケット用封筒 (旅行会社)
ガイド ブック	地球の歩き方ポケット 06-07 ホーチミン (旅行ガイド), TV ガイド 2006/11/4-10, 平成18年度富山大学五福キャンパス教養教育ガイド, 2006 富山大学キャンパスガイド
カタログ	ランズエンド 2006年レディース冬号 (婦人服), レポート笠間新聞 2006/5/13/・10/7 (書籍), 岩波書店の新刊 2007年2月, 渥美書房 国語・国文学 文献目録 No. 84, 富山市立図書館 増加図書目録 No. 296
各種案内 通知 説明文 など	2006 富山大学授業案内 五福キャンパス 教養教育・二年次生用, 日本言語学会の今後の活動について, 第48回外国人による日本語弁論大会実施要領, 山陽新幹線車内案内, 富山地方鉄道「定期券(通勤)の郵送サービス案内」, 北陸電力リビングサービス「オール電化住宅の案内」, クロネコヤマト不在連絡票, クロネコヤマト伝票, キャンディ袋・シールシート, いか黒作り外箱, 読書週間書店くじ平成18年
その他	第20回第一生命サラリーマン川柳コンクール「100句」

分析結果と考察

まず、異なり 841 語全体の傾向を見ていこう。図1に出現度別、図2に語種別の内訳を示す。

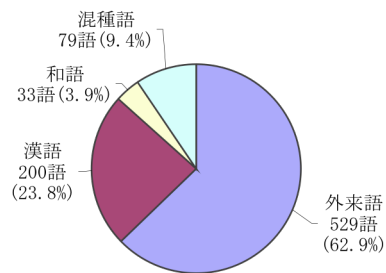
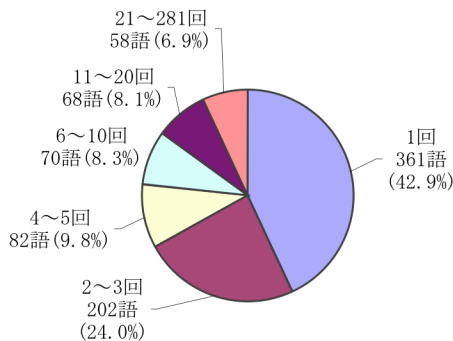


図1 異なり 841 語の出現度別内訳

図2 異なり 841 語の語種別内訳

図1から、語によって出現度数にかなり差があることが分かる。出現度数だけで重要語かどうかの判定はできないが、重要性を測る目安の一つとなり得るだろう。図2から、語種については、外来語の占める割合が非常に高いと言える。外来語にはカタカナ表記とローマ字表記の語があるが、外来語 529語と混種語 79語のうち、カタカナ表記の外来語を含む語は 420語あり、異なり語全体の半数(49.9%)を占めている。

次に、出現度が高かった語に注目して、これらの語がどのような特徴を有するのを見ていこう。

表2 出現度が高かった語 (出現度数 21 以上の 58 語, 括弧内は出現度数を示す)

1位. インターネット (281)	21位. HP (hp) (53)	40位. ファイル (33)
2位. ホームページ (262)	22位. データ (52)	42位. オンライン (30)
3位. パソコン (239)	22位. ドコモ (52)	43位. ネットワーク (29)
4位. メール (182)	24位. DVD (49)	43位. 通信 (29)
5位. 携帯電話 (179)	24位. 画面 (49)	45位. モバイル (28)
6位. サイト (159)	24位. 登録 (49)	46位. コンテンツ (27)
7位. 携帯 (142)	27位. KDDI (48)	47位. 画像 (25)
8位. ネット (140)	28位. PC (46)	47位. 開発 (25)
9位. ケータイ (134)	29位. セキュリティ(一) (44)	47位. 電子メール (25)
10位. コンピュータ(一) (129)	30位. NTT (41)	47位. 読み取る(読取) (25)
11位. URL (100)	31位. E-mail(e-mail) (40)	51位. フレッツ光 (23)
11位. アクセス (100)	32位. 配信 (39)	51位. 映像 (23)
13位. システム (88)	33位. Web(WEB) (38)	53位. チェック (22)
14位. IT (77)	34位. デル (37)	53位. 情報処理 (22)
15位. 検索 (72)	35位. 操作 (36)	55位. au(AU) (21)
16位. ソフト (68)	36位. 機能 (35)	55位. ブログ (21)
17位. アドレス (59)	37位. Eメール(eメール) (34)	55位. リンク (21)
17位. デジタル (59)	37位. PHS (34)	55位. 受信 (21)
19位. QRコード (57)	37位. ブチコード (34)	
20位. 入力 (54)	40位. ハイビジョン (33)	

表2から、インターネット及びメールに関連する語が多く含まれていることが見て取れる。ITの様々な機能のうち、特にインターネット及びメールが日常生活に不可欠なコミュニケーションツールとなりつつあることは、日々感じることであるが、これらIT用語の出現度の結果からも改めて確認できる。そして、IT用語には「URL」「QRコード」「電子メール」のような新語と、「ファイル」「携帯」「読み取る」のように、既存語に新たにITの意味を付加した語とが混在していることも分かる。さらに、目に留まるのが、「携帯電話」「携帯」「ケータイ」「ケイタイ」「モバイル」「mobile」を代表とする、同一対象を示す語が複数存在するIT用語である。これについて整理したのが表3である。

表3 省略形や複数の表記を有する語 (括弧内は出現度数を示す)

省略形	複数表記
<p>●語末を省略</p> <p>1. ギガバイト(2)…ギガ(2)</p> <p>2. ケータイ電話(2)…ケータイ(134)</p> <p>3. 携帯電話(179)…携帯(142)</p> <p>4. ソフトウェア/ウエア(17)…ソフト(68)</p> <p>5. デコメール(1)…デコメ(1)</p> <p>6. ハイ・テクノロジー(1)…ハイテク(4)</p> <p>7. パソコン(239)…パソ(1)</p> <p>8. ハードウェア/ウエア(6)…ハード(2)</p> <p>9. プレゼンテーション(4)…プレゼン(3)</p> <p>10. (電子/E)メールアドレス(16)…メルアド(2)</p> <p>11. メールマガジン(7)…メルマガ(2)</p> <p>●語頭を省略</p> <p>1. インターネット(281)…ネット(140)</p>	<p>●カタカナ表記とローマ字表記</p> <p>1. アイ・ビー・エム(1)…IBM(16)</p> <p>2. コピー・アンド・ペースト(1)…コピー&ペースト(2)</p> <p>3. ウィンドウズ(8)…Windows(14) 4. ウェブ(6)…Web(38)</p> <p>5. ウェブサイト(20)…Webサイト(8)…Website(1)</p> <p>6. エクセル(13)…Excel(3) 7. エプソン(6)…Epson(1)</p> <p>8. オフィス(5)…office(1) 9. オンライン(30)…online(13)</p> <p>10. ギャオ(1)…Gya0(1) 11. キヤノン(6)…canon(1)</p> <p>12. グーグル(18)…Google(1) 13. グリー(3)…GREE(2)</p> <p>14. サーバ(一)(12)…Server(4)</p> <p>15. シマンテック(2)…Symantec(3)</p> <p>16. ソフトバンク(14)…SoftBank(6)</p> <p>17. チェック(22)…Check(1) 18. ディーディーアイ(1)…DDI(3)</p> <p>19. ディスク(7)…Disk(1) 20. ドコモ(52)…DoCoMo(5)</p>

2. E-mail(40), Email(7)…mail(1) 3. Web/ウェブサイト(28)…サイト(159) 4. WWW(1)…Web/ウェブ(44) 5. 液晶プロジェクター(1)…プロジェクター(2) 6. 電子/Eメール(59)…メール(182) 7. ホームページ(262), Webページ(1)…ページ(14) 8. ホームページ/HPアドレス(23)…アドレス(9) 9. (電子/E)メールアドレス(16)…アドレス(11) ●各語の語末を省略 1. デジタルカメラ(5)…デジカメ(14) 2. パーソナル・コンピューター(1)…パソコン(239) 3. (電子/E)メールアドレス(16)…メアド(1) 4. 留守番電話(1)/留守電(1) ●英語の頭文字を使用 1. 暗証番号(3)…PIN(2) 2. オペレーティングシステム(1)…OS(7) 3. ギガバイト(2)…GB(11) 4. 情報技術(8)…IT(77) 5. 電子メール(25)…Eメール(34) 6. 三次元CAD(2)…3Dキャド(1) 7. ネットワーク(29)…NW(1) 8. ハードディスク(20)…HD(2) 9. ハイビジョン(33)…HV(1) 10. パソコン(239)…PC(46) 11. ヒューレット・パッカード(1)…HP(4) 12. ホームページ(262)…HP(53) 13. メーリングリスト(4)…ML(4) 14. Play Station 2(1)…PS2(1)	21. ドットコム(2)…com(3) 22. ビスタ(18)…Vista(10) 23. フレッツ光(23)…FLET'S光(1) 24. ボーダフォンライブ!(2)…vodafone live!(1) 25. マイクロソフト(11)…Microsoft(6) 26. マックintosh(1)…Macintosh(2) 27. ミクシィ(3)…mixi(6) 28. iモード(14)…i-mode/imode(4) 29. モトローラ(3)…MOTOROLA(1) 30. モバイル(28)…mobile(3) 31. Eメール(34)…E-mail/Email(47), メール(182)…mail(1) 32. メディアプレーヤー(1)…Media Player(1) 33. ヤフー(3)…Yahoo!(16) 34. ワード(5)…Word(2) ●漢字表記とカタカナ表記 1. 携帯(電話)(321)…ケータイ(電話)(136), ケイタイ(5) ●複数のカタカナ表記 1. ウィルス(7)…ウイルス(2) 2. ウィンドウ(2)…ウインドー(2) 3. キー(4)…キイ(1) 4. ケータイ(電話)(136)…ケイタイ(5) 5. ソフト/ハードウェア(21)…ソフト/ハードウエア(2) 6. ディスプレイ(3)…ディスプレイ(1) ●漢語と外来語 1. 印刷(7)…プリント(6), プリントアウト(4) 2. 印刷機(1)…プリンタ(一)(18) 3. 携帯(142)…モバイル(28) 4. 文書(2)…ドキュメント(6)
	その他
	1. バーコード(8)…2/二次元コード(2)…QRコード(57) …ブチコード(34) 2. URL(100)…ホームページ/HPアドレス(23) 3. ディスプレイ(3), ディスプレー(1)…モニター(9) 4. 番号継続制度(10)…番号ポータビリティ(5)…番号携帯制度(1)

表3から、複数の語形や表記法を有する語の多くはカタカナ表記の外来語であること、また複数の語を同程度に用いるか特定の語を優先的に用いるかは語によって異なることが分かる。そして、これらの中には共起する語や使用場面により、語の使い分けがなされているものもあるようである。

以上から、IT用語の習得には、カタカナ表記の外来語の習得が欠かせないと言える。カタカナ表記の外来語の大半は英語由来の語であり、PC操作に慣れている者は、原語を知っている可能性が高いが、「ウィルス」「ツール」のように原語の発音とかなり異なる語、「ネット」や「サイト」や「メール」のように原語とは意味のずれが生じるもの、さらには「デジカメ」や「メアド」のように原語には存在しない語もあり、日本語の語彙として学び直さなければならないものも多い。このように、IT用語であっても、様々な形で日常的に使われ、一般語化してきているものについては、ITの専門分野の基礎語彙として整理し、さらに日本語学習の早い段階から指導に取り入れる必要があると思われる。

今後さらに用例を増やし、日本語のIT用語のデータベースをより充実させた上で、各語がどのような語や表現と共起しやすいのかを分析するとともに、日本語学習者の習得状況についての調査を行い、教材化へとつなげていきたい。

引用文献

深澤のぞみ・濱田美和・後藤寛樹, 『留学生のためのコンピュータ用語集』の開発, 『専門日本語教育研究』, 第5号, 45-50頁, 2003年